

学校の校庭や体育館の開放について

- 1 生徒の健康保持の観点から、生徒の運動不足やストレスを解消するために開放するものであること。
- 2 短時間の運動とし、時間差で実施するなど、多数の生徒が特定の場所に長時間留まることがないように配慮すること。
- 3 体育館を開放する際には、こまめに換気をする、ドアノブ、手すり、スイッチ等の消毒をするなど、感染拡大防止のための防護措置を講じること。
- 4 生徒の利用状況を把握し、安全にも留意すること。

(参考)

「新型コロナウイルス感染症対策のための小学校・中学校・高等学校及び特別支援学校における一斉臨時休業に関するQ & Aの送付について（3月11日時点）」

【体育・部活動】

問40 臨時休業期間中に、学校の校庭や体育館、公共スポーツ施設を開放して、児童生徒が運動する機会を提供してもよいのか。[更新]

○ 児童生徒の健康保持の観点から、児童生徒の運動する機会を確保するため、学校の校庭や体育館、公共スポーツ施設の開放を設置者や各学校等の判断において行うことについては、一律に否定するものではありません。

○ この場合においても、一度に大人数が集まって人が密集する運動とならないよう配慮することが必要です。

○ 特に、屋内である体育館の開放については、ドアを広く開け、こまめな換気を心がけたり、児童生徒が手を触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチなど）を消毒液を使用して清掃を行うなど、感染拡大防止のための防護措置等を講じた上で、少人数の児童生徒への開放にとどめるなど、より慎重な対応が必要であると考えます。

(参考) 新型コロナウイルス感染症対策のための小学校等の臨時休業に関連した放課後児童クラブ等の活用による子どもの居場所の確保について（3月2日付文部科学省初等中等教育局長他通知）

問41 臨時休業期間中の部活動の取扱い如何。

○ 部活動は学校の教育活動の一環として行われるものであり、今回の臨時休業期間中は、部活動の実施は基本的には自粛されるべきものと考えます。